

学習課題（小学校4年生）



【国語】計画を立てて少しずつ取り組んでいきましょう。

<学習内容>

◆「一つの花」（教科書 67～80 ページ）に取り組めます。登場人物の行動を表す言葉や会話に気をつけながら、場面の様子をくらべて読みましょう。

①教科書 68 ページから 77 ページを音読します。「一つの花」という題名から、どんな物語か考えながら読んでみましょう。

②「一つの花」の**設定**をたしかめ、ノートや取組シートにまとめましょう。

【書き方の例】

【設定】…時(いつ)、場所(どこで)、登場人物(だれが)など、物語全体に関わること。教科書 160 ページに説明がのっています。

| 場所(どこで) | 人物(だれが) | 時(いつ) |
|----------------------|------------------|-----------------|
| ・ () ゆみ子の家 | ((()))) | () 中 |
| 小さな家 ・ ゆみ子の | (())) | () 後 |

③この物語は、戦争中と戦争後の場面に大きく分かれています。次のことに気をつけて、2つの場面を比べ、違いをノートや取組シートに書きましょう。

・世の中の様子 ・食べ物 ・コスモス

※戦争後：76 ページ 1 行目～

【例】・世の中の様子は、戦争中は…
・戦争中の食べ物は…
・コスモスの花は、戦争中は…ですが、戦争後は…

◆「要約するとき」「新聞を作ろう」で学習する新出漢字（約～法まで）をノートに練習します。（読み方や書き順は 155 ページにのっています。）

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

・③の学習で違いを見つける時には、戦争中の暮らしについて説明を加えると、よりこの物語の時代背景をつかめます。3年生の国語科の学習「ちいちゃんのかげおくり」で、この時代の物語を読んでいます。『ちいちゃんのかげおくり』と同じ時代だよ。」と、思い出させることもできます。



【社会】

＜学習内容＞「大切な水をくり返し使うくふう」「水の流れをまとめる」

◆教科書 68～71 ページや地図帳、持っている資料などをもとに、水の流しりょうれについて調べ、取組シートやノートに取り組もう。

- (1) 教科書 68～69 ページを見て、使われた水のゆくえについて、下の（ ）に言葉を入れよう。

ことば（教科書 P68）

使われた水は、下水しり場で（ ）にされ、（ ）などに流されます。そして、海に流れこんだ水は、やがて（ ）になってまた使われています。

- (2) 下水しり場でしりされた水は、どのようなことに使われていますか。
※飲み水など、人にえいきょうがありそうな使われ方以外のことに使われているよ。
- (3) 下の言葉を使って水の流しりょうれをまとめよう。

ダム じょう水場 配水池 下水しり場

※教科書 71 ページの絵をさんこうにするとよいですよ。

◆九州地方ちほうにある県の名前と位置について、白地図を使ってまとめましょう。

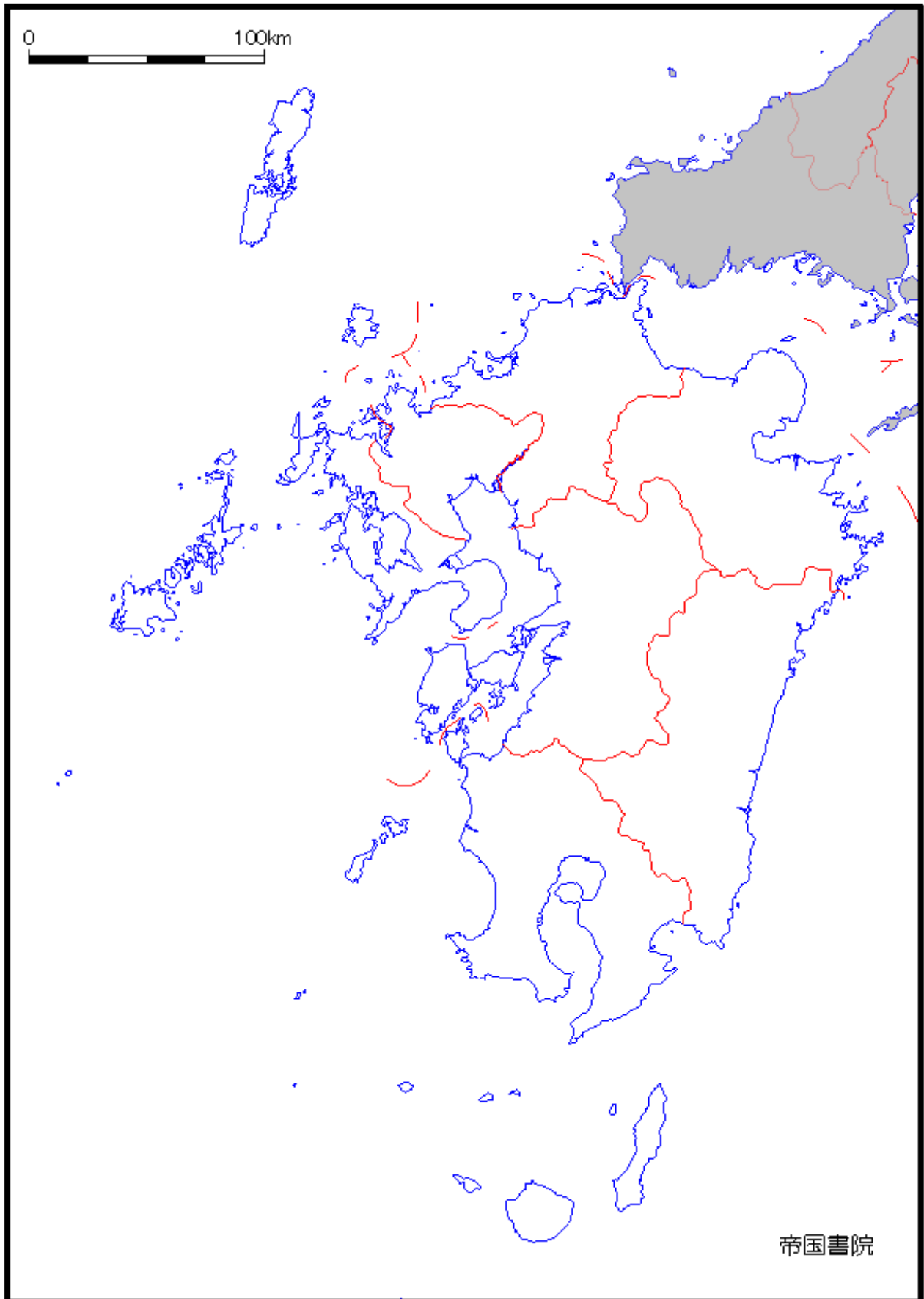
- (1) 地図帳 116 ページを見て、九州地方にある 7 つの県の名前を調べ、九州地方の白地図に県名を書きましょう。
- (2) 九州地方にある 7 つの県の位置をそれぞれ指でさしながら、県名を声に出して言ってみよう。何も見ないで、すべて言えるようになったらすばらしいです。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・下水処理場（札幌市は水再生プラザ）がなかったらどうなるのかを想像することで、下水処理場の働きや必要性について、自分に身近なこととして考えられるようになります。
- ・答えることができた県名が増えたなどの頑張りを認め、お子さんが継続して興味や意欲をもてるよう声かけをお願いします。

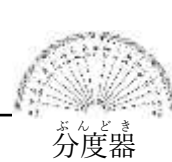
※地図帳 P115 に、QR コードがついています。閲覧が可能であれば、こちらも御活用ください。

白地図（九州地方） ^{ちほう} 名前



【算数】

「※」は学習するときのヒントです。



＜学習内容＞

◆「角」（教科書 60～63 ページ）

(1) 教科書 177 ページにある「角をつくる円の板」を使って、いろいろな角をつくりましょう。

※ミシン目にそってのはさみで切り取ると、きれいに切り取れるよ。

※オレンジ色の板をおさえて、水色の板を動かしてみよう。

※円の板を回転させて、角を増やしたり減らしたりしながら、「大きい角」「小さい角」をつくってみるといいよ。

分度器と三角定規セットを用意しよう。



分度器はどんな時に使うのかな。



(2) 教科書 60、61 ページにある①から⑦の角の大きさを、三角定規の角を使って調べ、気付いたことを下の表に書きましょう。

※「三角定規の角〇こ分」「直角の〇こ分」などと気付いたことを書き表すと、角の大きさがわかるね。



| 番号 | 三角定規の角を使って気付いたこと |
|----|------------------|
| ① | |
| ② | |
| ③ | |
| ④ | |
| ⑤ | |
| ⑥ | |
| ⑦ | |

あれ？ ②と④の角は「〇こ分」などと、うまく角の大きさを表せられないよ。

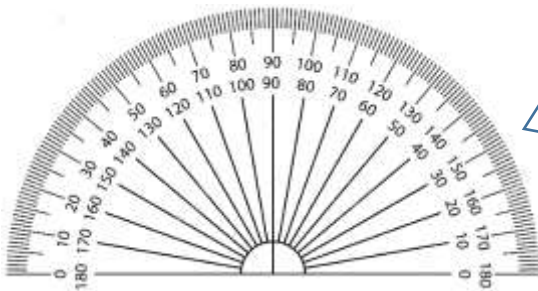


角の大きさを表すには、どうすればいいのかな？

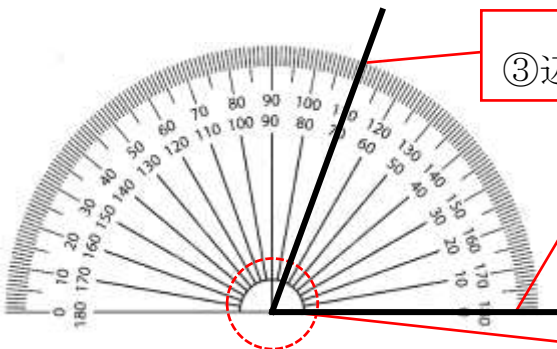
角の大きさをはかるには、^{ぶんどき}分度器を使います。

(3) 下の四角にあてはまる言葉を書き入れましょう。

※教科書 62 ページを参考にして言葉を書き入れよう。



直角を 等分した 1 こ分の大きさを 1 度といい、 ° と書きます。度は角の大きさの です。角の大きさのことを ともいいます。



③ 辺アウと重なっている をよむ。

② ° の線を辺アイに重ねる。

① 分度器の を頂点に合わせる。

(4) 教科書 63 ページの 1 を行い、ノートか取組シートに答えを書きましょう。

(5) 身の回りのいろいろな物の角度を分度器で測って、ノートか取組シートに記しましょう。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆角（教科書 P60～P63）

- 分度器で角の大きさを正しく測る際には、次のような点に注意するとよいです。
「0° の線を辺に重ねたとき、分度器の中心と頂点がずれていないか確認する」「目盛りをよむときは、分度器の真正面からよむ」「辺に合わせた線が 0° となっている方の数値をよむ」「辺が短いときは、辺を延長してから測る」など。
- 角の大きさを予想してから角を測ることで、量の感覚が少しずつ育まれます。「だいたい何度くらいかな。」と考え、楽しみながら角の大きさを測る姿が見られたら褒めていただければと思います。

【理科】

<学習内容>

◆教科書「雨水のゆくえと地面のようす」（54～55 ページ）を見て、雨の日の校庭のようすを観察しましょう。

①雨の日の校庭のようすを見て、気付いたことやぎもんに思うことを取組シートやノートに書きましょう。

※水たまりができている場所はどのようなところかな。

※水が流れているところがあります。流れる向きは、何が関係しているのかな。

【動画を参考にみるのもよいでしょう】

NHK for School「水が流れるのは…」



https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005301774_00000&p=box

◆教科書「雨水のゆくえと地面のようす」（56～60 ページ）を見て、「地面にふった雨水は、どこからどこへ流れるのだろうか。」「どのようなところに集まるのだろうか。」について考えましょう。

①雨水は、どこからどこへ流れるのでしょうか。また、どのようなところに集まるのでしょうか。それぞれ予想して、自分の考えを取組シートやノートに書きましょう。

※水はどうしてやじるしの向きに流れているのかな。（56 ページ）

※鉄ぼうの下に水たまりができるのはなぜかな。（57 ページ）

【家でできる実験】

・ふろ場やシンクで水を流してみます。水はどのように流れるのでしょうか。水が流れる方向を記録したら、観察1（教科書58 ページ）のように、ビー玉などを使って、水が流れた場所のかたむきを調べてみましょう。

※水の流れる方向とお風呂場やシンクのかたむき方にきまりはあるかな。

②自分で行った実験や観察1の結果（60 ページ）をもとに、雨水はどこからどこへ流れて、どのようなところに集まるのか考えて、取組シートやノートに書きましょう。

※雨水の流れと地面のかたむき方には、どのような関係があるかな。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

・この学習では、地面の傾き方によって、雨水が流れて川のようになったり、集まって水たまりをつくったりするということに気付くことを大切にしています。

・「水たまりはどのようなところにできるのかな。」「雨が降ったとき、雨水は、どこに流れていったのかな。」など、雨の日の経験を思い出しながら、考えられるように声をかけてあげてください。

【体育】

けがをしないよう、まわりをよくたしかめて取り組みましょう。

<べんきょうすること>

※動画を見られる場合は、右のQRコードを使ってください。

<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/nawatobi.html>



◆「なわ跳び」にとりくみましょう。

一つずつクリアしていくと、2重跳びができるようになりますよ。

○前とびのやりかた



わきをしめて
手くびをはやくまわします

わきに本をはさんでいる
つもりでとびましょう

○リズムの練習



むねのまえ

ふともものよこ

こつは、わきをしめて手首を早く回すことです。わきに本をはさんでいるつもりで跳びましょう。また、つま先で着地すると、上手に跳ぶことができます。30秒で70回くらいとべるようになると、2重跳びができるようになるといわれています。

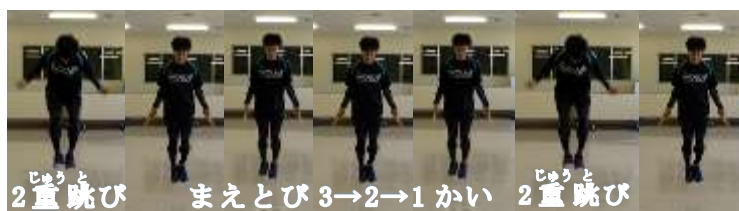
なわを持たずに、2重跳びのリズムをおぼえます。跳んだときに、むねの前で手を2回たたいたり、太ももを2回たたいたりします。

○なわ回し



なわを早くまわすためには、手くびの動かし方が大切になります。片手ずつ、左右両方やってみよう。

○「2重跳び→前とび」のくり返し



2重跳び まえとび 3→2→1 かい 2重跳び

2重跳びと前とびを組み合わせます。最初は2重跳びをする時にひざを曲げて高く跳びましょう。次に前とびを3→2→1回と減らしていきます。できたら連続2重跳びにチャレンジしてみよう。

◆連続で何回跳べたかや、30秒で何回跳べたかを数えてみよう。

※余裕があれば、前に紹介した跳び方で二重跳びに挑戦するなどの工夫をしてみましよう。くり返し取り組めると、上手になりますよ。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

跳んだ回数を数えてあげたり、こつをうまく生かして跳んでいる姿を褒めてあげたりして、継続して取り組む意欲へとつながるよう声をかけてあげてください。